

## ヒーターサンプル仕様

	PETヒーター
外形寸法	54×78mm+端子部
フィルムの色	白色
材料構成	PETカバー 25 $\mu$ /接着剤層 /SUS 30 $\mu$ /接着剤層/PETベース 75 $\mu$
抵抗値	80 $\Omega$ ±20% (20℃時)
耐熱温度	80℃
端子加工	ラグハトメ

ヒーター自体には温度調節機能は無い為、サーモスタットなどで外部コントロールするか、1～2時間後の飽和温度が最適になるような電圧を設定して下さい。(使用温度が耐熱温度以下となるように制御願います。)

断線する恐れがありますのでヒーターを繰り返し曲げたり、折り目が付くように折り曲げたりすることは御遠慮願います。

ヒーターに防水性はありません。特に端子部分は水分により短絡する可能性があります。水没した状態での使用や長時間水分に触れた状態で使用する際は御社にて防水対策をして頂く事となります。

端子加工については、下半田を行った電線をハトメに半田付けした上で絶縁テープ、熱収縮チューブなどで絶縁保護してご使用下さい。(基材のフィルムが溶けないように半田付けはできるだけ素早く行って下さい。)

ヒーターの取り付けについては、基材表面の脱脂清拭を十分に行ったうえで、使用温度に合わせた耐熱両面テープなどで基材への貼り付けを行って下さい。貼り付け時に気泡等が入ると異常過熱の原因となりますので、貼り合せの際はご注意願います。

ヒーターの固定が完了して端子部のショートが無いことを確認したら、ヒーターを0Vから徐々に昇圧して最適温度となる電圧を設定して下さい。(通常は安定化電源などで変圧します。)最適温度となる電圧とそのときの抵抗値が分かれば、最適出力が得られます。

その後は使用する電圧でその出力が得られる抵抗値を決めて実際のヒーター設計を行います。(その際は、使用電圧・出力・製品寸法・端子位置・耐熱温度・材料構成などを御指示願います。)

なお、これらのヒーターについては評価用サンプルのため、使用時のいかなる損害についても当社はその責を負わないものと致します。

### [NEW]

サンプルヒーターの加工方法と試験方法、出力計算方法に関するQ&AをHP上にアップロード致しました。上記説明と合わせてご覧下さい。

### <アクセス方法>

面状発熱体ホームページ <http://www.shinwasokutei.co.jp/menpatsu/> の左メニュー欄より「Q&A」をクリックし、その中の「Q. ミニサンプルの使用方法和試験方法が分かりません。」の回答欄のリンクをクリックすると説明ページが表示されます。(PDF閲覧ソフトが必要です。)